

うれしの 市議会だより

令和6年
(2024)
11月13日発行
vol. 75

令和6年 第3回定例会

| | |
|-----------|-------|
| 補正予算 | 2 |
| 議案のなかみ | 3 |
| 事業のなかみ | 3~5 |
| 決算 | 6~10 |
| 人事・陳情・賛否表 | 11 |
| 一般質問 | 12~21 |
| 委員会活動 | 22~23 |
| トピックス | 24 |



第3回定例会
(9月)

一般会計補正予算

2億8,757万円を計上

一般会計総額 218億4,676万円

令和6年第3回定例会は8月29日に招集され、10月4日まで37日間の日程で開催されました。

今定例会では、報告4件、専決処分の承認を求めるもの1件、条例の制定1件、条例の一部改正3件、特定の事務を取り扱う郵便局の指定1件、補正予算2件、決算認定等5件、売買契約の締結1件、人事案件1件の全部で19件が上程されました。

報告及び決算認定等の9件を除く10件については慎重審議の結果、9月17日に討論・採決を行い、全議案を可決・承認しました。

また、売買契約の締結について（承認）1件が追加議案として上程されました。

その後、9月24日に決算特別委員会を設置し、令和5年度の一般会計、特別会計など5件の決算認定等についても、現地調査を含め慎重に審査を行いました。10月4日に追加議案を含む全ての議案を全会一致で認定・可決し、閉会しました。



補正予算

議案のなかみ

事業のなかみ

決算

人事・陳情・賛否表

一般質問

委員会活動



議案のなかみ



嬉野市うれしの茶交流館条例の一部改正について

令和7年度からの指定管理に向けて、嬉野市うれしの茶交流館（チャオシル）について利用料金等を変更するため、条例の一部を改正する条例が可決されました。

この条例改正による指定管理者の適切な管理運営を期待します。



問 今回のタイミングで改正される理由は。

答 指定管理者の公募要項作成において必要性があったため。

問 料金改定の基準は。

答 類似施設を参考にした。

問 料金改定の理由は。

答 これまでは、原材料（茶葉）のみの料金設定であったため、人件費等も含めた料金改定とした。

チャオシル 体験料(個人)

| 区分 | 改正 | 現行 |
|-----------|--------|--------|
| お茶の淹れ方教室 | 1,000円 | 300円 |
| 茶摘み体験 | 1,000円 | 600円 |
| 釜炒り体験 | 1,500円 | 1,000円 |
| 茶摘み・釜炒り体験 | 2,400円 | 1,500円 |



議案・事業のなかみ



嬉野市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について

行政窓口の効率化と対面サービスの利便性を高めるために、嬉野市の特定の事務を取り扱うことができる機関として、吉田郵便局を指定するものです。



▲ 変わる窓口サービス

証明書交付等委託事業

69万円

委託費として、初期導入費、固定費、従量費、一般管理費が予算化されました。

問 吉田郵便局に委託する事務の内容は。

答 証明書交付サービスで、今後は、マイナンバーカードの更新手続きも行う予定である。

問 周知はどのようにするか。

答 市報と吉田地区への回覧を予定している。

問 サービス開始はいつからか。

答 令和7年1月20日から開始する。

問 今後、他の郵便局への委託の考えは。

答 担当課では、久間郵便局、大草野郵便局、五町田郵便局へ、委託を検討したいと考えている。

※これまでの吉田出張所での市民課による窓口業務は、令和7年3月31日に終了します。



物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業(経済活性化事業) 5,831万円

物価高騰対策として、「うれしかーど」を所有する市民に、1人当たり2,000円分のポイントを交付します。スマホアプリ登録者には1,000円分のポイントを上乘せします。

生活費負担が増加している市民への支援と消費の落ち込みで打撃を受けている市内店舗の収益向上を目指し、市内の経済活性化を図ります。



▲ みんなで使おう！うれしかーど

問 交付対象は。

答 市内に住民登録がある方で10月31日までにカードを取得済みの方が対象。アプリ登録のポイント上乘せについても10月31日までの登録が必要。

問 手続きは必要か。

答 既にカードを持っている方は、申請不要。持っていない方や紛失した方などは申請が必要である。

問 ポイントはいつ付与されるのか。

答 11月中旬～下旬を予定している。ポイントは自動交付し、交付完了後は世帯主へ完了通知を送付する。

お問い合わせ先

うれしかーど事務局
 嬉野市嬉野町大字下宿甲4770番地3
 嬉野オフィスビル1階（嬉野市企業誘致ビル）
 ☎ 080-1588-5022 ☎ 080-2395-7351
 開設期間：12月27日まで

実用英語技能検定料費補助 17万円

実用英語技能検定（英検）の受験機会を拡大して中学生の英語力及び学習意欲の向上を図るため17万円が予算化されました。

高い英語力は将来の進路や職業選択の幅を広げることにもつながることから、ご希望の方はぜひ補助金を活用し受験していただければと思います。

補助対象の受験級は、1級、準1級、2級、準2級、3級となっています。

問 対象者は。

答 英検を受ける中学生の保護者に対し、検定料の1/2を補助。各年度1回限りである。

問 英検受験者の見込みは何名か。

答 これまでの実績を基に3級～2級まで47名を予定している。

お問い合わせ先

市内の中学校へ通学している生徒の保護者
 →通学している各中学校へ
 市外の中学校へ通学している生徒の保護者
 →教育総務課及び学校教育課へ
 教育総務課 0954-66-9124
 学校教育課 0954-66-9128



事業の

全国お茶まつり嬉野市準備委員会

198万円

令和8年度に佐賀県で全国お茶まつりが開催される予定です。そこで、全国茶品評会でのうれしの茶の上位入賞と全国お茶まつりを契機とした、うれしの茶の生産力向上やブランド力強化を図るため、全国お茶まつり嬉野市準備委員会が組織されます。今年度の事業として、全国茶品評会への出展予定茶園に対する肥料補助を行い、高品質茶生産のための支援が行われます。

問 補助対象の茶園は。

答 嬉野銘茶塾を通して、全国茶品評会出展希望者の茶園へ補助される。

問 準備委員会の今後の計画は。

答 全国お茶まつりの詳細に関しては、県の計画も未定であり、現時点での具体的な計画はない。

令和8年度開催に向けて、準備や生産者への支援を行う方針である。



▲ 品質の良い茶葉を目指して

茶業研修施設費

1,300万円

茶の生産と製茶技術向上のために茶業研修施設を設置し、うれしの茶の普及振興を図っています。今年度は、令和8年度全国茶品評会に向けて、超高感度CCDカメラを搭載した色彩選別機を購入する予定です。機器の更新を行うことで、茶品質の精度向上と労力削減が図られます。

問 導入の経緯は。

答 現在使用している色彩選別機は、購入して17年が経過し、精度の高い選別に対応できない。高品質のお茶を作るために選別機を更新することとした。

問 想定されるランニングコストは。

答 メンテナンスなどの保守料は、特に必要ない。激しく損傷するものではなく、修繕料等も特段必要ない。ランニングコストは、使用する際の電気代程度と想定している。

問 使用料に変更はないか。

答 変更はない。



▲ 生産性向上に期待

補正予算

議案のなかみ

事業のなかみ

決算

人事・陳情・賛否表

一般質問

委員会活動

決算を認定



令和6年度補正予算関連の討論・採決終了後、9月24日に議長を除く15名の決算特別委員会を設置し、令和5年度の一般会計、特別会計など5件の決算認定等について慎重審査及び現地調査を行い、各課への指摘事項も含めた意見を付して10月4日に全会一致で認定及び可決しました。

実質収支額 5億93335万円の黒字

一般会計

令和5年度一般会計の決算状況は、歳入総額が205億776万円、前年度比8億9559万円減（前年度比4.2%減）、歳出総額が197億5510万円、前年度比7億6110万円減（前年度比3.7%減）で翌年度へ繰り越す財源1億5931万円を差し引いた5億93335万円が実質収支額となり黒字決算となっています。

前年度実質収支額と比較した単年度収支額は1億8546万円の減少となっています。

歳入では、市税などの自主財源比率が歳入総額の44.3%（90億8047万円）で、昨年度より1.1ポイント増加しています。

また、市税全体の収納率は、現年課税分と滞納率を合わせた全体で94.4%となっており、前年度より0.9ポイント増加しています。

歳出では、人件費や扶助費、物件費などの経常的経費が歳出全体の69.5%（137億3025万円）、普通建設事業費や災害復旧費などの投資的経費が歳出全体の11.4%（22億5566万円）、積立金や繰出金などその他の経費が19.1%（37億6918万円）となっています。

特別会計

特別会計の実質収支額は、国民健康保険1億6086万円、後期高齢者医療189万円、駅周辺土地区画整理事業費423万円といずれも黒字決算となっています。

令和5年度の決算の特筆すべきものとして、新庁舎建設事業や令和3年豪雨の災害復旧事業、新型コロナウイルス感染症対策事業の継続と、高齢化に伴う社会保障費が増大しました。

令和5年度

各決算の状況

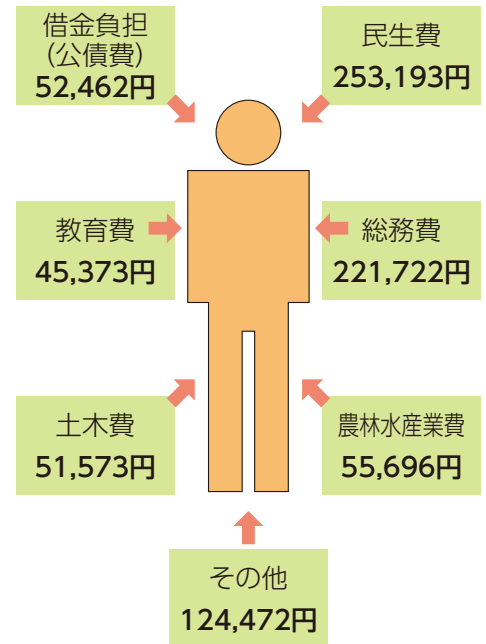
| 会計名 | 歳入総額(A) | 歳出総額(B) | 形式収支 (C) = (A) - (B) | 翌年度へ 繰り越すべき財源 (D) | 実質収支額 (E) = (C) - (D) | |
|-------------|-----------|-------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 一般会計 | 205億776万円 | 197億5,510万円 | 7億5,266万円 | 1億5,931万円 | 5億9,335万円 | |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 35億5,523万円 | 33億9,437万円 | 1億6,086万円 | 0 | 1億6,086万円 |
| | 後期高齢者医療 | 4億1,688万円 | 4億1,499万円 | 189万円 | 0 | 189万円 |
| | 駅周辺土地区画 | 1億5,790万円 | 1億5,367万円 | 423万円 | 0 | 423万円 |
| 事業会計 下水道 | 収益的収支(税込) | 8億4,781万円 | 7億7,697万円 | 7,084万円 | — | 7,084万円 |
| | 資本的収支(税込) | 4億7,179万円 | 6億3,636万円 | △1億6,457万円 | 194万円 | △1億6,651万円 ※留保資金等で補てん |

主な財政指標

| 区分 | 令和5年度 | 令和4年度 | 用語の説明 |
|--------|----------|----------|--|
| 財政力指数 | 0.379 | 0.371 | 基準財政収入額を基準財政需要額で除した過去3年間の平均値。指数が1を超える場合や1に近づくほど財源に余裕があることとなります。 |
| 実質収支比率 | 7.5% | 9.9% | 実質収支額を標準財政規模で除したもので普通3～5%程度が望ましいとされています。 |
| 経常収支比率 | 93.1% | 85.2% | 使い道が自由な一般財源のうち必ず支出しなければならない経費の割合。いわば地方財政のエンゲル係数で100%に近いほど財政にゆとりがないことになり、80%までが適正とされています。 |
| 実質公債費率 | 8.7% | 9.1% | 収入に対する負債返済の割合で過去3年間の平均値。18%以上だと新たな借金をするためには県の許可が必要で25%以上だと制限されます。 |
| 将来負担比率 | — (※) | — (※) | 一般会計で将来負担すべき負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率です。350%を超えると早期健全化団体に転落し健全化計画を提出しなければなりません。 |

※将来負担額より充当可能財源等が多いため比率の表示がなく、将来負担が少ないことを表しています。

市民(24,556人)
一人当たりに使われたお金
(令和6年3月末現在の人口)



1人当たりの費用額は(人口割) 804,491円

もの申す!!

決算特別委員会は、

9月24日に設置し、総務企画・文教福祉・産業建設の3分科会に分かれて、各所管から詳細な説明を受け、事情聴取や現地調査を行い慎重審査に努めました。

その結果、すべての決算を認定とし、各分科会から各課へ指摘を行いました。

財政課

- 公共施設等総合管理計画の改定業務は、引き続き、将来にわたる施設更新費のトータルコストの把握に努め、持続可能な公共施設等の管理を目指すこと。
- 旧体育館跡地については、他の市有財産とともに有効的な活用と計画的な維持管理、また売却等も視野に入れた施策を講じるよう努めるべきである。

広報・広聴課

源なので寄附額の確保について努力すること。また、事業者の事務負担軽減に向けた検討を継続すべきである。

- 新幹線通勤通学応援金は、継続的な実施が望ましいと考える。一方、制度の趣旨に沿った制度設計に向け整理検討を重ねることを求める。

福祉課

より大きな視点も取り入れながらの事業推進を図るべきである。

- 社会文化会館（リハビリ）の使用は、受益者負担の考えに基づき市民の利用が優先となるような仕組みづくりを求める。

総務・防災課

- 消防団の報酬及び処遇改善、消防団員の適正な定数見直しに関しては、引き続き消防団との協議を継続し、令和7年度に向け必要な条例改正及び予算措置を行うべきである。
- 職員採用は、初任給の引き上げ等、処遇改善も含めて研究・検討を行い人材確保の強化を図るべきである。

税務課

- 相続財産管理人手続業務は、相続人不存在の事例が今後も発生していくことが考えられ、業務知識の継承のためにも事例の研究・検討は継続的に実施することを求める。

企画政策課

- ふるさと応援寄附金は本市にとって重要な財

文化・スポーツ振興課

- スポーツライフ推進事業は、単なる健康増進イベントに留まることなく、観光資源の有効活用、社会貢献などの

健康づくり課

- 地域自殺対策強化事業は、深夜の相談についても即時対応が求められるため、他の団体が実施されている相談窓口への転送も検討しながら、相談体制の充実を図るべきである。
- 母子保健医療対策総合支援事業は、オンラインによる相談方法が煩雑であり、今後は簡素化に向けたシステム改修の検討を行い、相談体制の充実に努めるべきである。

子育て未来課

- 子育て世帯生活支援特別給付金償還金（その他世帯分及びひとり親世帯分）は、前年度国库補助金返還金の予算計上がされておらず、扶助費からの予算流用や予備費からの充用が見られた。今後はチェック体制の見直しを行い、確実な予算計上を強く求める。

議会から

教育委員会

・校長先生の知恵袋事業は、その内容において形骸化している点もみられる。

各学校長のプレゼンテーション内容に重点を置き、より特色のある学校づくりに寄与するよう予算配分を求める。

・遠距離通学費補助事業は、対象児童・生徒に対し一律全額補助の検討を含め、補助金交付要綱の早急な見直しを行うべきである。

なく策定すべきである。

農業政策課

・グリーンツーリズム推進事業は、2つの事業として予算計上されていたが、1つの事業が未執行である。当初予算の策定において十分な考慮が必要である。

・有害鳥獣対策は、一定の農作物被害を軽減することができてはいるが、有害鳥獣が市街地へ出没し様々な被害が増えている現状を踏まえ、効果的な対策を望む。

区別するためにも、嬉野版DMOの役割を明確にすべきである。

・嬉野地域力開発プロジェクトは、チームの再編成も視野に入れ、全体の地域力で地域開発と観光産業の発展につなげることを望む。

・地域資源活用対策事業は、「うれしの未来づくり塾」への受講者が少ない。市民全体への受講者増に努めるべきである。

最優先に考え事業完了に努めるべきである。

環境下水道課

・地域脱炭素事業について「ゼロカーボンシティ」を表明し目標達成のための計画は出来ているが、数値目標に沿い具体的な行動を推進すべきである。

通行の安全を図るため、森林環境譲与税等を用いた対応の検討を求める。

農林整備課

・老朽化した危険ため池の防災・減災対策について、農村地域防災減災事業を活用し、農地と生活の安全を維持するため、国への要望等、早急な整備を求める。

・林道において私有林のかぶり木や倒木など、通行上危険な箇所がある。森林環境譲与税をかぶり木伐採等に活用されるよう望む。

農業委員会

・農業者年金業務受託事業は、新規農業者、農業後継者への農業者年金制度の加入促進に力を入れるべきである。

・市内では、遊休農地等が毎年増えている。今後は、認定農業者・法人・営農組合等を中心に遊休農地の削減等のため、地域計画を遅滞

観光商工課

・関西・中国地方都市圏対策事業は、当初3か所の事業計画であったが、決算では1都市へ重点的に予算投入されている。今後は事業を大きく変更する場合は説明並びに事務処理を明確にすべきである。

・嬉野版DMO支援事業は、観光協会の事業と

新幹線・まちづくり課

・地域公共交通適正化支援業務は、塩田地区において乗り合いタクシーが検討されているが、地区住民の利用を促すような対策を望む。

・新幹線嬉野温泉駅周辺のまちづくりは、子どもや市民が集い歓声の聞こえる駅前広場となるような対策を望む。

茶業振興課

・うれしの茶PR活動推進事業は、うれしの茶の販売実績等の効果を検証し、更に実のある事業となることを望む。

・農地再生支援事業は、荒廃農地の発生防止、再生及び利用促進のため、補助対象面積要件の緩和等見直しを求める。

建設課

・道路上のかぶり木による交通障害等、市道の



嬉野市の台所事情

借金はこれだけ

| 借入金の項目 | 令和5年度末金額 | 令和4年度末金額 |
|--------------------|------------|-------------|
| 公共事業債 | 6億5,848万円 | 7億9,216万円 |
| 防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債 | 1,348万円 | 1,100万円 |
| 公営住宅建設事業債 | 2,000万円 | 2,930万円 |
| 災害復旧事業債 | 1億7,695万円 | 1億5,105万円 |
| (旧) 緊急防災・減災事業債 | 0円 | 0円 |
| 教育・福祉施設等整備事業債 | 1億4,322万円 | 1億7,125万円 |
| 一般単独事業債 | 38億3,577万円 | 42億2,387万円 |
| （うち 合併特例債） | (24億986万円) | (28億581億円) |
| 財源対策債 | 3億3,230万円 | 2億1,285万円 |
| 減収補填債 | 1,953万円 | 1,953万円 |
| 減税補填債 | 700万円 | 1,310万円 |
| 臨時財政対策債 | 37億9,548万円 | 42億1,813万円 |
| その他（一般会計出資債） | 3億9,129万円 | 3億8,494万円 |
| 合 計 | 93億9,350万円 | 102億2,718万円 |

(決算年度末現在高)

貯金はこれだけ

| 基金の項目 | 令和5年度末金額 | 令和4年度末金額 |
|-----------------|-------------|------------|
| 財政調整基金 | 41億7,491万円 | 39億8,822万円 |
| 減債基金 | 10億9,710万円 | 11億6,777万円 |
| 地域づくり推進事業基金 | 3億5,853万円 | 3億8,838万円 |
| ふるさと応援寄附金基金 | 5億36万円 | 51万円 |
| 地域福祉基金 | 2億1,405万円 | 2億1,405万円 |
| ふるさと・水と土保全基金 | 2,041万円 | 2,041万円 |
| 公共施設建設基金 | 18億9,352万円 | 14億9,290万円 |
| 奨学金資金積立金 | 7,195万円 | 7,370万円 |
| 人づくり振興基金 | 5,000万円 | 5,000万円 |
| 国民健康保険基金 | 1億8,027万円 | 1億8,998万円 |
| 下水道事業基金 | 0円 | 1億3,849万円 |
| 土地開発基金 | 1億164万円 | 1億160万円 |
| 肉用繁殖牛導入事業基金 | 2,375万円 | 2,375万円 |
| 合併振興基金 | 12億1,893万円 | 13億4,381万円 |
| 教育環境支援基金 | 1億15万円 | 1億10万円 |
| ふるさと応援寄附金子育て夢基金 | 1億5,994万円 | 1億5,988万円 |
| 森林環境譲与税基金 | 3,754万円 | 3,835万円 |
| まち・ひと・しごと創生基金 | 1億円 | 0円 |
| その他 | 873万円 | 840万円 |
| 合 計 | 103億1,178万円 | 95億30万円 |

(決算年度末現在高)

補正予算

議案のなかみ

事業のなかみ

決算

人事・陳情・賛否表

一般質問

委員会活動

人事

人権擁護委員の候補者の推薦に適任と認め答申しました

高井 仁司氏（塩田町）

陳情

被爆79周年原水禁運動への
ご協力をお願い

佐賀市神野東

原水爆禁止佐賀県協議会

会長 徳光 清孝氏

旧親和銀行跡地の有効利用
について

嬉野市嬉野町

（一社）嬉野温泉観光協会

会長 山口 剛氏

嬉野温泉旅館組合

理事長 山口 剛氏

嬉野温泉商店街協同組合

理事長 木原 靖弘氏

嬉野町温泉区

総区長 北川 泰則氏

母（王垂彦）が中国で不法
に逮捕されている件に関する
陳情

東京都荒川区東口暮里

張 一文氏

令和6年第3回 定例会議案賛否表(主なもの)

○は賛成 ●は反対 議長は採決に加わりません

| 議案番号 | 議案名 | 番号 | 議員名 | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--|----|------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | | | 結果 | 1 水山 洋輔 | 2 大串 友則 | 3 古川 英子 | 4 阿部 愛子 | 5 山口 卓也 | 6 諸上 栄大 | 7 諸井 義人 | 8 山口 虎太郎 | 9 宮崎 良平 | 10 川内 聖二 | 11 増田 朝子 | 12 森田 明彦 | 13 芦塚 典子 | 14 田中 政司 | 15 梶原 睦也 |
| 議案第49号 | 専決処分（第8号）承認を求めることについて | 承認 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第50号 | 嬉野市下水道使用料の徴収の変更に伴う関係条例の整理に関する条例について | 可決 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第51号 | 嬉野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について | 可決 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第52号 | 嬉野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について | 可決 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第53号 | 嬉野市うれしの茶交流館条例の一部を改正する条例について | 可決 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第54号 | 嬉野市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について | 可決 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第55号 | 令和6年度嬉野市一般会計補正予算（第3号） | 可決 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第57号 | 令和5年度嬉野市一般会計歳入歳出決算認定について | 認定 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第62号 | 売買契約の締結について | 可決 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 諮問第2号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 適任 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

補正予算

議案のなかみ

事業のなかみ

決算

人事・陳情・賛否表

一般質問

委員会活動

「市政を問う！」 一般質問

14議員が質問

| | |
|-----------|-----|
| 諸井 義人 議員 | P12 |
| 森田 明彦 議員 | P13 |
| 川内 聖二 議員 | P14 |
| 芦塚 典子 議員 | P14 |
| 梶原 睦也 議員 | P15 |
| 諸上 栄大 議員 | P16 |
| 山口 虎太郎 議員 | P16 |
| 古川 英子 議員 | P17 |
| 大串 友則 議員 | P18 |
| 水山 洋輔 議員 | P18 |
| 山口 卓也 議員 | P19 |
| 増田 朝子 議員 | P20 |
| 阿部 愛子 議員 | P20 |
| 田中 政司 議員 | P21 |



諸井 義人 議員

諸井 安全対策としての課題を今後どのように進めるのか。
建設課長 交通安全対策の必要性は、大変重要と捉えている。地元合意の説明会や個別の訪問等も継続していきたい。
市長 事態の進捗を図る上で、地元が強いエネルギー

建設課長 県と幾度となく協議をしている。地元に出向いて我慢強く交渉していき、新しい情報等があれば説明会をお願いしていく。
諸井 「鹿島―武雄のアクセス改善へ 国道498号バイパス整備構想 佐賀県と沿線3市が

なっているか。
建設課長 鹿島―武雄間の整備ルートについては、3市が要望したルートと整合性が取れている。
諸井 ルート帯について途中には史跡や学校、伝建地区、浸水地域などがあるが、ある程度の具体的な路線要望は出来てい

建設部長 安全で走行性の高い道路、豪雨による通行止めが生じない道路として要望している。
諸井 今後の取り組み方について。
市長 国道498号も重要な路線と認識し、関係

機関と連携しながら誘致、実現に取り組んでいきたい。





森田 明彦 議員

南海トラフ地震に伴う 支援で県との協議予定は

答 具体的な対応策等が示されれば最大限対応する

市長 現在のところ協議は始まっていないが、具体的な対応策等が示されれば嬉野市として最大限、支援活動に対応していく。
森田 学校が避難所になった場合を想定した対応を伺う。
教育長 地震等の避難所となった場合、基本的に

は冷暖房を設置した教室を開放したいと考える。
物流の2024年問題について
森田 トラック運転手の残業規制強化に伴い、事業者や現場の運転手からも要望がある再配達を抑制するための宅配ボックスの普及を後押しする補助制度を嬉野市でも考えられないか。また、3階建て以上の新築集合住宅で住戸数が10戸以上を対象に設置を義務付ける条例を制定した先進事例があるが、本市でも検討してはいいかがか。

観光商工課長 宅配ボックス設置が再配達の抑制に効果がある事は承知しているが、佐賀県において本年6月から8月に設置補助が実施され、二次募集も行われるので市単独では行わない。また、条例の制定についても現段階では考えていない。
茶業振興について
森田 3月21日に東京羽田においてクラフトビール・うれしの茶エール完成披露式が行われたが、数百本の限定生産であった。今後の増産予定と、うれしの茶エール販路拓



▲ 大地震への備えを



大の計画を伺う。
茶業振興課長 3月に500本を生産し羽田での販売が好評であった。

今後の取り扱いとして6月に茶業を送って追加生産を依頼しており、今後、観光協会を通じ販売の需要拡大を図りたい。

国道498号の 現道拡幅要望の進捗は

答 現地測量の地元合意が得られていない

ギーを持たなければ実現は図れない。全体的な道路網、交通ネットワークの位置づけから、現道拡幅の重要性を皆様にお伝えする機会を設けることも考えている。
諸井 今後、地区や地権者との説明会をどうするか。

ルート帯発表」について主体性は県と市どちらか。
建設課長 県から通知があったので、ルート帯の発表を鹿島市、武雄市、嬉野市同じタイミングで市報やホームページに掲載した。
諸井 ルート帯は3市が要望しているのと同じに

るのか。
建設課長 細かなルート帯というのは、まだ設定していない。今後地元の意見聴取、史跡等の重要施設を考慮しながら、県の方で絞っていく計画になっている。
諸井 このバイパスは高規格道路と捉えてよいか。



▲ 非常に危険な国道498号



川内 聖二 議員

今後、護岸が壊れないように遊歩道の整備を

答 県の方へ要望する

川内 今年の7月の大雨により、塩田川のシーボルトの湯付近で護岸が崩落した。現在の状況と今後の県の整備について伺う。

市長 現在、これ以上被害が拡大しないように崩落部に大型土のうの設置と法面部をシートで覆い保護し、早期に復旧できるように測量設計を進めていると伺っている。

川内 今回被災した場所は、河川が右カーブで豪雨時等に左岸側の護岸には水流が強く当たると考えるが、工事としては災害復旧だけ行うのか伺う。

計の段階で、復旧の面積や構造については検討中と伺っている。

川内 被災したこの地域は嬉野温泉を代表する景観の場所であり、今後崩壊しないように、嬉野橋から温泉公園展望所まで左岸側に遊歩道の設置を考えられないか、遊歩道の整備を行えば、景観の確保と既設護岸の治水対策に繋がると考えるが、市から要望の考えは無いのか。

建設課長 今後、どのような形になるか分からないが、県の方に繋がりたいと考える。

川内 嬉野橋から轟の滝

まで遊歩道が整備されているが、築造から数十年が経ち経年劣化や自然災害で壊れている箇所が多くある。改修に関して県の対応を伺う。

建設課長 遊歩道の改修については以前から要望を行っていている。県は破損している箇所を確認し、随時対応を検討しており、今年度では嬉野橋から湯野田大橋間の平板ブロック等の改修を予定している

川内 湯野田大橋から轟の滝までの区間も、河川内が風化し危険な箇所があるので、パトロールを行い利用される方が安全

に散策できるように危険な箇所等を県へ指摘し、改修の要望を行って貰いたいかがが。 **建設部長** 今回、遊歩道に関しては、現地を確認

している。崖が風化して崩壊している箇所も数箇所見受けられる。再度確認して県の方へ要望を行っていく。



▲ 景観も重視しての治水対策を



乗合いタクシーの今後の運行は

答 乗車の割合で方向性を決める

芦塚 塩田町全域で予約型乗合いタクシーの実証実験が行われるが、乗り手が少ない場合は廃止になるのか。

新幹線・まちづくり課長 まず乗ってもらうPRをしていくが、一旦運行を取りやめるといった方向性も選択肢に入れている。

理解を得て進めていく。

出生数減の対策は

芦塚 子どもの出生数145人に減少、対策は

統括保健師 産婦の2週間ごと、1か月後の検診を実施している。

芦塚 その事業で減少の

改修など出生数減少の対策をしている。

芦塚 他市町では、妊婦に、5万円クーポン券、おむつやミルクのクーポン券配布など子育てにやさしい施策があるが。

市長 当市ではきめ細かな対応はできている。

市長 バラマキ合戦で子どもを奪い合う構図は何の役にも立たない。

芦塚 議員削減の問題ではなく、教育、働く場、企業誘致など、「安心して子どもを産みやすい環境をつくる」ことが仕事ではないか。

市民福祉部長 議員削減という意図ではないが、議員報酬を無料にしても予算規模では足りない。





梶原 睦也 議員

窓口での対応に軟骨伝導イヤホンを導入すべきでは

答 取り寄せて使ってみたい

梶原 軟骨伝導イヤホンとは。
福祉課長 耳の穴を取り巻く軟骨組織に振動を与えスピーカーの役目をしてくれるイヤホンである。
梶原 空気伝導イヤホンと違い、軟骨伝導イヤホンは耳たぶの下にはめる。耳の穴を塞がないため普通に会話ができ、ボリュームの調節もできる。耳の穴に入れないため衛生的にも優れている。現在、窓口では難聴者に対しどのように対応されているか。

福祉課長 高齢者の来所が多く加齢による聞きづらさがあるため、大きな声で説明していることが多い。
梶原 大きな声で話すと個人情報等も漏れてしまう。スムーズな窓口対応のためにも、是非伝導イヤホンを導入すべきではないか。
市長 大事な事だ。聞かれない様子を大声で言わざるを得ないが、職員が市民を怒鳴りつけているように見えてはならないと思う。早速取り寄せて使ってみたい。

梶原 ベーシックサービスについて
市長 国の在り方としてベーシックサービスを追求していくことであれば、基礎自治体として最大限協力する。
教育長 全ての年齢の子どもたちに、教育の無料化が出来れば非常に良い。国の方で給食費の無償化

をしてもらえれば職員の業務軽減にもなり、ベーシックサービスの考え方はよいと思う。
梶原 本市で「子どもの医療費助成制度」以外にベーシックサービスの考え方に基ついた施策は。
市長 「赤ちゃん訪問」、「オンライン英会話」、「ひとり親世帯への支援」、「障がい者福祉サービス」等々独自の制度を設けている。



▲ スムーズな窓口対応を



芦塚 典子 議員

芦塚 一乗車1000円のシルバーパスで運行の事例もある。料金等、地区の皆さんと話し合いを密にされてはどうか。
新幹線・まちづくり課長 行政区長、老人会、民生委員等々話し合いや出前講座で説明をしてきたが、今後も出向いて料金等、

V字回復できるか。
市長 V字回復はありえない。切れ目のない支援でしっかりやっている。
芦塚 切れ目のない支援を続けていって、出生数は依然減少しているが。
市長 放課後児童クラブの待機の解消、18歳までの医療費助成、保育園の

した都市町を参考にした経済的支援はあるか。
市民福祉部長 岡山県奈義町の例では、財政的には議員を14名から10名に削減している。ここにいる議員を全部無報酬にしてもとても足りない。それに大学を出たらみんな出ていく。



▲ 小国町を走っている乗合タクシー

中学校でのフォローアップ研修の考えは

答 検討を要する事項にあたると考える



諸上 栄大 議員

諸上 新たに策定された高齢者保健福祉計画に、市内全ての小学校4年生を対象に認知症サポート養成の実施とあるが、その目的を伺う。

市長 本市は、認知症になっても住み慣れた地域で生き生きと生活を送ることができるよう、認知症に優しい地域づくりを進めていくため認知症について正しく理解し、見守りや手助けを通じて、福祉や認知症に対する意識づけをすることを目的として実施している。

諸上 小学校4年生を対象とされた理由は、また、どの授業を活用して行われるのか。

学校教育課長 小学校3・4年生ぐらいになると自分の事に加え、相手の事や周りの事を大切にするように、成長をする段階が合致する点で4年生を対象とした。

諸上 この養成講座は、先生は受けられているのか。

学校教育課長 小学4年生の担任と教員ではないが、一部保護者も一緒に受けられていると聞いています。

諸上 受講者年齢を見ても30〜40歳代が少ない。例えば、授業参観日を活用し保護者も一緒に受講する事は考えられないか。

教育長 PTA等での役員会あたりでの検討もしながら、学校教育課程の指導内容も十分ある中で、どこでできるのかを検討しながら計画を立てる必要があると思う。今後検討課題としたい。

諸上 養成講座を小学4年生で終わるのではなく、フォローアップ研修というような形で、今後中学校での取り組みは考えられないか。

教育長 学校だけではなく地域総がかりでやっていく必要があると考える。中学校においては、いわゆる地域で育てるといってもあり、そういう部分も活用していく必要がある。



▲ 優しい地域づくりのために

ると思う。いろんな行事等もあるため、検討を要する事項に当たると考える。

市農政を具体的にどう進めるのか

答 来るべき危機に備え基礎体力を高めていく

山口 国が進める有機栽培にどう取組むか。

産業振興部長 お茶の有機栽培は約11ヘクタールある。中には高単価で販売されている方もいる。今後は茶業発展の為に方向性を変えながら進めていく。

山口 宮崎県では国内消費

茶業対策について

山口 茶商・茶農家が毎年減少している。止める施策は考えているか。

茶業振興課長 嬉野市において毎年減少している。要因として生産コスト、労働時間に対する販売価格が見合わないこと

地域を定め、PR活動等を実施していく。

山口 市独自で大阪・東京での販売対策強化を予算づけされたが、もっと市がリードできる予算組みが必要ではないか。

産業振興部長 今回200万円の計上であり、県単事業補助、JA等の補助、

開催を視野に入れ予算編成していく。

山口 現在、嬉野茶最盛期に比べ栽培面積が半分近く減った。残る茶農家が元氣を取り戻せる茶業

対策はあるか。
茶業振興課長 生産者の圃場には条件があるので圃場に応じた方向性を明確化していく。



後期高齢者の健康管理について



古川 英子 議員

答 健康相談を行っていきたい

古川 本市の後期高齢者は何名か。
健康づくり課長 7月末時点で4757名。
古川 その中で介護認定を受けていない方は何名か。
健康づくり課長 7月末時点で3341名。
古川 介護認定を受けていない方の健康管理はどのようにされているか。
健康づくり課長 健康状態不明者などの個別支援と通いの場や老人会などを訪問し、血圧等のチェックを行っている。
古川 通いの場とはどのような場であるか。
統括保健師 仲間同士で

集まっている場や百歳体操や各地区の老人会である。
古川 各地区の老人会自体が縮小傾向となっていると聞くが現状は如何か。
福祉課長 老人会の縮小は詳しく把握していない。老人会のお世話ができる方が減ったというような問題は聞いていない。
古川 高齢者福祉計画策定委員会にて、血圧測定等が全地区で行われているか疑問との意見があったが。
統括保健師 希望する地区にて実施している。現状は10ヶ所位で、手上げが少ない状況である。

古川 連絡を待つのではなく、積極的に出向くべきではないか。
統括保健師 高齢者の集まりになるべく出向き、健康相談をやっていきたい。
古川 長期休暇中の児童の食事について
古川 嬉野市のこども食堂の現状を伺う。
福祉課長 現在、塩田町に1か所設置され、毎月最終土曜日に11時から14時まで感染症予防の観点からパンとジュースを安価で販売されている。
古川 嬉野町ではどうか。

市長 運営したいという方がいることは承知している。嬉野市では、フードバンクなどから提供いただいた野菜等をリュックのグループラインで紹介し取りに来て頂いている。
市民福祉部長 嬉野町でも子育て支援センターで連携を取りながらできるのではないかと思う。



▲ 楽しく元気な毎日を



山口 虎太郎 議員

費者向けの県統一された規格で努力されている。輸出向けのGマークの取組みも考えるべきではないか。
産業振興部長 以前Gマークに取り組んだ経緯がある。地理的観点から断念した。

による後継者不足を認識している。対策として、さが園芸888億円推進事業をはじめ補助事業を実施しており、今後もニーズに応じた支援をしていく。また、販売価格向上の施策は、茶商、茶連、JA、生産者と連携協議しターゲットとする

茶商へのPR補助と様々な補助金でPRを行っている。
山口 活性化委員会が茶販売対策として動くため原資が必要だが、市長はどうするのか。
市長 明確な額を明示するのは難しい。令和8年度の全国お茶まつり嬉野



▲ 豊かな嬉野へ



大串 友則 議員

夏休み等に放課後児童クラブで 昼食の提供は出来ないか

答 様々な形で調査、
検討をしている



水山 洋輔 議員

教育長 現在、大草野小の校舎を行っており、令和8年度までに完成予定。その後は、嬉野中を実施した後、五町田小、塩田小、久間小の順番に計画を予定している。

水山 計画では令和11年度までに実施予定だが、その認識でよいか。

校舎を用意するが、この期間中は、不自由なことも想定されるため、課題であると考えている。

水山 設計や仕様を決めるうえでの課題は。

教育総務課長 長寿命化に加えた別の事業（エレベーターの設置等）を計画しており、国の補助が

市長 令和4年度に食事提供の確保の検討は行ったが、食中毒、アレルギー事故、配送コスト、など様々な理由により引き受ける事業者がいなかったということと断念をした。

大串 保護者などに放課後児童クラブの昼食についてアンケートなど行ったことはあるか。

子育て未来課長 令和4年度以降も、運営を委託している事業者が調査を行っているが、保護者等にアンケート調査をしたことはない。

大串 国の補助金に放課後児童クラブ育成支援体制強化事業があるが、補助金を活用し、昼食の支援は考えられないか。

子育て未来課長 放課後児童クラブの夏休み期間などは人員が多く必要になり、支援員の確保が困難であるため、放課後児童クラブ育成支援体制強化事業は行っていない。

大串 こども家庭庁が食事提供事例集を掲げており、その中には、学校給食センターも別々に手配する必要があるため、学校給食センターからの配食は困難である。



▲ 子どもは嬉野のタカラ

を少しでも軽減する取組を検討できないか。

子育て未来課長 子育てと仕事の両立という面で支援をしていくことは大切だと考える。

市が運営を委託している事業者とは、一部の放課後児童クラブで試験的にでも出来ないかなど検討を重ねている。



その他の質問
・自治体DXの推進と取組みについて





山口 卓也 議員

自動運転バスの実施主体や費用負担の考えは

答 当面は市が運行主体となる運営を想定している

山口 自動運転車両のコスト比較の資料では、月480万円かかる。運賃収入や広告収入の想定や不足する差額分をどのようにに想定しているか。

新幹線・まちづくり課長 運賃収入はまだ決めておらず、実証運行を行い、トータルコストを試算していく。

山口 嬉野市と同様の車両で実証実験している他市の担当所感としては、国の交付金や企業版ふるさと納税のスキームが止まれば、実現可能性は難しく、ライドシェアやデマンドタクシーが現実的とのことであった。費用

負担を考えた時、嬉野市での実現可能性をどう考えているのか。

新幹線・まちづくり課長 資材高騰や人件費上昇もあり、収入がまだ見えないうちで費用負担としては非常に厳しいと考えている。国の補助を要望している状況である。

山口 費用対効果をしっかり説明できるように実証実験を進めるべきで、投資する際の目利きやタイムリングが重要と考えるが。

新幹線・まちづくり課長 小さい額ではないので十分に効果検証していく。

市長 運営体制について

て、車両の購入や維持管理は市が責任を持ち運営し、また、運行主体は分離し、地元の民間事業者が運賃・広告収入を得て事業として取り組んで頂くというのも選択肢の一つとされている。

道路・河川の草払い等
こころ

山口 被り木の撤去を地域住民と市とで協働で行う仕組みづくりはできないか。

建設課長 基本的に所有者に対応をお願いしている。通常の手順を踏んでから、どうしてもという



▲ 実証実験中の自動運転車両



時には役務の提供により一緒に作業することも状況を見て検討していきたい。

山口 今年、高速インター付近道路の茶の木が生い茂っていた印象があるが管理はどうしているか。

観光商工課長 街路茶は県より許可を受け市で設置管理している。

山口 吉田川で草木が生い茂っている箇所があるが除去が必要ではないか。

建設課長 生い茂っている箇所を確認したので、県につなぎたい。

学校長寿命化のスケジュールは

答 嬉野中、五町田小、塩田小、久間小を予定

教育部長 現在の計画書に沿って長寿命化を行う予定になっている。

水山 長寿命化工事を実施する中での課題は。

教育総務課長 工事期間中は1年以上を仮設校舎で過ごすことになる。学習等に影響がないように最大限の配慮をした仮設

複雑に絡み、制度の整理が難しくなる。悩みながら取り組んでいる。

水山 予算は、どの様に確保しているのか。

教育総務課長 国庫補助金と起債を充当している。

水山 起債される地方債の交付税措置は。

財政課長 元利償還金の

する。

水山 今後、実施される費用の想定は出来ているのか。

教育部長 文科省から示される基準が変わる可能性もあるため、各計画の段階で算出をしていくものと認識をしている。

水山 吉田小・吉田中の



▲ 老朽化する校舎



増田 朝子 議員

災害時協力井戸の 制度化を

答 研究をしてみたい



阿部 愛子 議員

増田 市内に存在する利用可能な井戸数を把握しているか。

総務・防災課長 防災部局では把握していない。

増田 年に2回佐賀県が水質検査を実施し、塩田地区40件、嬉野地区20件の申請があると環境下水道課から伺った。また、成人1日当たり必要な飲料水は3ℓ、生活用水は329ℓと言われている。

そこで、「災害時に井戸を使ってください」と手を挙げてもらい、「災害時協力井戸」のプレートを設置する制度は考えられないか。

市長 先進地事例も含め

研究してみたい。

土のうステーションの設置について

増田 現在の土のうの確保はどのようにされているか。

総務・防災課長 消防団各部の消防機庫において、土のうをストックし、いざという時に持ちだしている。

増田 県内では、武雄市、佐賀市、上峰町が「土のうステーション」として公民館など住民にわかりやすい場所に設置し、必要な時に必要な住民がもらえる制度があるが、本

市でも取り組んではいかがか。

市長 土のうは、積み方など訓練が必要であり、地域防災の中で土のうの活用を検討したいので、個人への配布は考えていない。

総合福祉センターの考え

増田 市長就任時、子どもセンターについては、

いろんな世代が集まれる総合福祉センターを考えているとあったが、今もその思いは変わらないか。

市長 いささかの変更もなく、着々と進んでいる。

増田 総合福祉センターの青写真はありますか。

市長 塩田庁舎利活用の中で示されている。

増田 嬉野老人福祉セン

ターも含め、子育て支援センターはどうか。

市長 様々な世代が集う場、拠点づくりを小学校単位で作っていききたい。



▲ 生活用水に利用可能な井戸

阿部 団塊の世代が後期高齢者に達し、自立支援が急がれる。65歳以上の割合と人数、介護認定者の人数を伺う。

市長 割合は36.2%で人数は8868人。介護認定者は1544人になっている。

阿部 特別養護老人ホーム

決定する。

阿部 市民が介護度に応じたサービスを受けられる体制になっているか。

福祉課長 市には宅老所が多くあり比較的スムーズに入所できる。訪問介護事業所は市内5か所、現在不足していないが、今は不足していくと予想

任用職員は180名で全体の44.1%である。男性48名、女性132名、現在パートタイム雇用が100%である。

阿部 勤勉手当が支給されるようになったが市の支給状況について伺う。

総務・防災課長 今年6月から期末・勤勉手当

衛隊から事前に通知があり、それに基づいて防災行政無線、回覧板で周知している。

自衛隊への入隊勧誘について

阿部 18歳と22歳の名簿の提供をしているが家族





田中 政司 議員

今後の茶業振興対策をどう進めるのか

答 産地を挙げ関係者の総力を結集する

田中 500年の伝統ある「うれしの茶」を絶やさないため、今後の茶業振興策をどうするか。

市長 全国的に生産農家が減少している。生産コストの上昇に比して販売価格が上がらない事がその要因である。

行政としては、後継者の育成、生産コストの低減と省力化、販売における高付加価値化等の生産現場の支援だけでなく、文化的な面から文化財登録を目指していきながら、「うれしの茶」を認知していただく努力が必要であり、若い世代にバトンタッチができるよう、粉

骨砕身努力していく。

田中 令和8年に佐賀県において全国お茶まつりが開催される予定だが、その準備状況はどうか。

茶業振興課長 佐賀県での開催は決定している。今後、準備委員会や実行委員会が立ち上がりその流れの中で開催地や内容が決定される。

田中 お茶まつりに向けて若手後継者への支援を考えるべきだと思うが。

市長 昨年の全国お茶まつりでは、茶審査技術競技会において団体優勝という素晴らしい結果であった、今回お茶まつりを受けた背景には若手生

産者が頑張っておられる姿があるからだ。その思いが報われるよう様々な面で支援していく。

塩田川沿いの桜の木について

田中 轟の滝周辺から塩田川沿いの桜の木を嬉野の春の観光スポットとして維持整備していくべきと考えるが如何か。

新幹線・まちづくり課長 現在、樹木医に相談し状況をみていただきながら、対応を確認し何本かずつでも栽植という方向で考えている。

田中 市内で桜の名所の



▲ 嬉野茶が日本一四冠



ポイントを決め、ふるさと納税やクラウドファンディングなどを活用し、桜プロジェクトみたいな名前で予算化してはどうか。

市長 市民の意向をくみとって景観形成の事業を組み立てたい。プロジェクトはいい案と思うので呼びかけを含め相談してみたい。

介護度に応じたサービス体制になっているか

答 現状は比較的スムーズに利用できる

ムの入所者数と、待機者数、入所基準と入所までの流れについて伺う。

福祉課長 入所者数157人、待機者163人。基準は要介護3以上で虐待等特別な理由がある場合はこの限りではない。待機者の状況を点数化し、老人ホームの判定会議で

される。

会計年度任用職員の待遇について

阿部 任用職員は何人で全職員との割合はどうか。

総務・防災課長 全職員は408名で、その内、

の支給の運用を始めている。

自衛隊員の市内での行動計画について

阿部 大野原演習や夜間行動を市民へ周知しているか。

総務・防災課長 陸上目

へ周知をしているか。

総務・防災課長 市民に広く一般的な法に基づいた個人情報提供で現在行っている。



▲ 安心できる介護体制へ

動く!! 委員会



補正予算

議案のなかみ

事業のなかみ

決算

人事・陳情・賛否表

一般質問

委員会活動

基金の運用・管理について

総務企画常任委員会

調査理由

歳入の安定的確保の一環として、基金の効率的な運用と管理を行うため、債権運用と基金一括管理等について山口県周南市と防府市を訪問し調査した。

委員会の意見

基金に関して、本市では19の基金のうち定額運用以外の15の基金が個別管理されている。預託事務等の効率化を図り、またまとった資金を運用する事による効率性が高まるため、基金一括運用が望ましい。

債券運用に関して、本市は20年国債を10億円分購入し運用している。今後購入する際には、満期となる年度を分散することによる一定の流動性の確保と将来の金利変動の標準化を図る観点から、周南市で実施されているラダー型運用を参考にされたい。

財政課と会計課が連携して事前の資金計画作成と把握が最も重要と考える。市民サービスの向上に寄与すべく、基金の確実かつ効率的な運用・管理に努められたい。



▲ 基金運用を学ぶ

幼保小中連携事業について

文教福祉常任委員会

調査理由

幼保小中の連携が求められている。幼保小架け橋プログラム（大阪府箕面市）と幼保小中連携プログラム（奈良県五條市）の取組状況を調査した。

委員会の意見

箕面市では、「架け橋期カリキュラム」を作成するために、現場の保育士や教員によるワーキンググループが相互理解の促進を図る場として機能しており、施設種別の垣根を超えた職員同士の関係づくりが行われている。

五條市では、幼保小中の連携の実践のため小中一貫教育の学園構想をもとに事業展開が行われ、学校適正化事業により幼保小中の統合が行われた経緯を伺った。小学校の統合については、子どもたちの将来のために行政・市民・議会が丸となって取り組ま

れていた。

本市においても、専門職種（保育士や教員等）や関係機関の方々が連携した一貫性のある教育支援が行えるように、関係機関の連携とそれを調整する機能に磨きをかけ、切れ目のない教育環境の充実を図られることを望む。



▲ 先進地での調査の様子

観光について

産業建設常任委員会

調査理由

タクシー利用者数の減少やタクシードライバーの人手不足が課題となっている。そこで、「日本版ライドシェア」の仕組みと運用について九州運輸局佐賀運輸局支局にて調査を行った。

委員会の意見

観光地における交通手段の確保は、自治体だけで維持・運営することが困難な状況となっている。自治体運用には、法整備並びに事業運営の困難さ、高齢化の高い現状でのデジタル化、法規制による料金収受、広域利用の限界などが残されているが、今後は本格運用が開始された地域に対し、ライドシェアの試みが公共交通の手段の改善となり、地域経済観光にもたらす変化等、その効果を分析する必要もある。本市において検討する場合は、

市町村やNPO法人が提供する公共ライドシェアを活用し、観光並びに介護や外出支援を必要とする市民への交通手段を確保するため、地域での公共交通を維持する体系を構築すべきである。



▲ ライドシェアについて学ぶ

閉会中の委員会審査(調査)付託案件

令和6年第3回定例会

| 付託事件名 | 付託委員会名 | 付託期間 |
|-------------------------------------|-------------------|---------|
| 市民福祉部及び教育委員会の所管に関する事項について | 文教福祉常任委員会 | 次期定例会まで |
| 各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項 | 議会運営委員会 | 次期定例会まで |
| 議会の活性化を図るための調査研究 | 議会活性化特別委員会 | 調査終了まで |
| 議会広報の編集発行に係る調査研究 | 議会広報編集特別委員会 | 調査終了まで |
| 市庁舎のあり方に関する調査研究 | 市庁舎検討特別委員会 | 調査終了まで |
| 議会ICT化の推進に係る調査研究 | 議会ICT化の推進に係る特別委員会 | 調査終了まで |

第4回定例会(12月) 会期日程(案)

| 開会 | 常任委員会 | 議案質疑 | 一般質問 | 討論・採決、閉会 |
|-------|----------|------------|------------|----------|
| 12月3日 | 12月4日、5日 | 12月10日、11日 | 12月12日、13日 | 12月18日 |

訂正とお詫び

前回発行した議会だよりVol.74の増田朝子議員の一般質問(P16)3段目6～7行目の記事において誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。

【前号の記事】

増田

民生委員や児童民生委員の方にも幅広く

【訂正後】

増田

民生委員・児童委員や主任児童委員の方にも幅広く

「世界から見た嬉野市」

嬉野市で暮らす
外国の方にインタビュー

トピックス
ときを読む



近年、インバウンドという言葉が頻りに聞かれるようになり、街中でも外国の方を目にする機会は多くなってきていると思います。そこで、嬉野市で暮らす外国の方に、日頃の生活などのインタビューをしました。

参加者

- | | |
|---------|----------|
| 名前 (出身) | |
| サヤさん | (ネパール) |
| ケンさん | (シンガポール) |
| ムハンマさん | (パキスタン) |
| イファンさん | (インドネシア) |
| イマンさん | (インドネシア) |
| アンキさん | (インドネシア) |

コーディネーター

- | | |
|--------|--------|
| ドミニクさん | (アメリカ) |
| 武藤さん | (嬉野) |
| 河納さん | (嬉野) |

Q 日本に来るきっかけは？
サヤさん 経済産業省のインターンシッププログラムで、1か月半、市内のIT企業で働いています。

ケンさん コロナ禍に新たな機会を探していて、市内IT企業の募集があったので応募しました。もと

も日本の文化やアニメが好きでした。

ムハンマさん 車の輸入の仕事で来日しています。

イファンさん・イマンさん・アンキさん 市内の食品加工会社で技能実習生として働いています。

Q 自国と日本(嬉野)とで違うところは？
サヤさん ネパールでは賑やかで声

が大きく叫んだりもする。日本人はおとなしいです。

ムハンマさん 日本人は時間を守るイメージです。パキスタンではあまり守りません。

イマンさん インドネシアの食べ物が辛いです。日本で辛いと言われる食べ物屋の「10辛」でも辛くはないです。

アンキさん インドネシアでは酒を飲みません。1日に5回お祈りをします。

Q 日本(嬉野)での生活で困ったことは？
ケンさん 「空気を読む」文化が難しいと感じます。日本人の「はい」

は時に「いいえ」の場合がありませう。あと田舎は少し苦手です。

ムハンマさん 普段はグーグル翻訳を使っていますが、まだウルドゥー語を正確に翻訳してくれません。

また、宗教的に食べられないものがあり、買い物は佐賀の専門店まで通っています。

Q 嬉野市へ期待することは？
ケンさん ファストフード店があれば嬉しいです。

イファンさん リサイクルショップがあれば便利です。

Q 最近の円安は影響ありますか？
ケンさん 日本で暮らすには問題ないですが、シンガポールに帰る時は困ります。

あとシンガポールは金利が3〜4%ありますが、日本はほぼゼロなので驚きです。

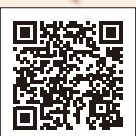
イファンさん・イマンさん・アンキさん 実家への送金をしています。円安の影響をとっても感じています。

カフェ・コーヒー



嬉野市では、月に2回、国際交流や日本語教育の場として「カフェ・こくさいじん」を開催しています。取材時はとてにぎやかで楽しいひとときでした。

フェイスブックもチェックしてみね



C COLUMN

近年は地球温暖化による豪雨や大型の台風、また南海トラフによる大地震等、大規模災害が懸念されている▼テレビでは連日、高齢者や一人暮らしを狙った凶悪犯罪が報道されており、ひと昔前では考えられなかったような日本となってしまった▼また、世界に目を向けると、あらゆる地域で戦争による惨禍が続いている▼このような不安定な時代だからこそ、人と人との繋がりがより大事になっているのではないだろうか▼「結局は人、人としての振る舞いが全て」と強く思う今日この頃▼世界中の人が当たり前前に食事を楽しみ、当たり前前に教育を受け、当たり前前に家族との団欒を楽しめる、そんな当たり前が一日も早く訪れて欲しいと願う。

(睦也)

議会広報編集 特別委員会

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 宮崎良平 |
| 副委員長 | 水山洋輔 |
| 委員 | 梶原睦也 |
| | 芦塚典子 |
| | 増田朝子 |
| | 山口卓也 |
| | 古川英子 |